

本学経済学部地域創造学科で開講している「地域ワークショップ」という授業では、行政や企業との連携型ワークショップに取り組んでいます。

今年度は、北九州市が実施している折尾地区総合整備事業に伴い、JR折尾駅に新設される多目的交流施設（まちづくり記念館）が住民に愛着を持ってもらう場となるにはどうすればよいかを授業で検討し、その一つの方策として、新施設の開所イベントの企画立案を行ってきました。また、施設建設場所や先進地視察を始め、北九州市職員の皆様と議論を重ねたことで、折尾地域の歴史や文化、そして地元住民の憩いの場になる施設にする仕掛けの重要性について学ぶことができた。

去る1月11日（火）、学生が検討してきた3つのイベント案を北九州市北橋市長にプレゼンテーションし、市長も学生の報告に聞き入っておられました。

当該施設は今年春のオープンに向けて着々と準備が進められています。

本学科では、地域社会や行政や企業等との連携を積極的に行うことで、学生の学びを深め、地域貢献に寄与する様々な授業を行っております。学生からは、「地域のイベントを考えるには、地域の特徴や他の地域との違いなど地域社会に対する理解を深めることが大切だということ学びました」といった感想が聞かれました。

